

南大谷小学校の教育

地球を愛し、地球と共に、地球を大切に作る

よく考えて
行動する
子ども

思いやり
のある
子ども

明るく
元気な
子ども

今年度、学校の花壇を開墾して新たにもう一つ、学校の水田（一面あたり縦3m×横11m）が完成。2つの水田は太いパイプでつないで水管理をしています。

おそらく、学校敷地内にある水田としては町田市内の小学校で一番大きい水田でしょう。6月16日には5年生が田植えを行いました。

「しろかき」をして2週間経ってからの少し遅い田植えでした。子どもたちは農業ボランティアの方の指導のもと、膝まで田んぼに入りながら元気に苗を植えました。苗は教室で育てたものと小山田地域から提供された6種類の稲です（コシヒカリ、日本晴、絹光り、古代米、黒米、赤米）。どれだけ収穫できるかは天候次第ですが、水の管理、生育を記録しながら豊作になるよう祈ります。バケツ稲作りも同時に行っています。各学級10個のバケツに「コシヒカリ」を育てます。バケツは水の管理が大変ですが稲刈りの時季まで様子を見ながら水や追肥を入れていきます。他にも南大谷小学校の農園では黒豆・ジャガイモ・サツマイモ・トマト・里芋そして陸稲（畑で作る餅米）を栽培しています。収穫が楽しみです。自分たちの手で作って食べる生産体験活動を通して、生きる力、



自分たちで育てた苗の田植え



▲農業ボランティアによる種まきの説明



▲手作りの水田2面をつなぐ配水管

思いやりの心、感謝の心を育てます。

また、今年度は、校庭の芝生化やグリーンカーテンにもチャレンジし、環境教育を一層推進していきます。

町田第五小学校の教育

「自分もみんなも大切にし、共生する子」を目指して

健康な
子ども

考える
子ども

助け合う
子ども

進んで
やる
子ども

本校は東京都人権尊重教育推進校として、全ての教育活動を通し、道徳教育の充実を図るとともに人権教育の推進を図っています。今年は特に各学年における教科等の指導を通して、人権尊重の理念である「思いやり」や「親切」、「生命尊重」や「社会規範」などについて考える授業や、東京都の人権課題である「女性」や「子供」、「高齢者」などの問題を考える授業を中心に校内の研究に取り組んでいます。



▲道徳の授業の様子

特に、地域の特性を生かした取り組みとしては、自然や人とのかわりなどの体験活動を重視しています。



▲6年生 運動会全員ピラミッド

例えば、運動会では6年生が全員ピラミッドに挑戦して、力を合わせる大切さを学びました。また、6月25日には、子どもたちが学年を越えてふれ合う活動として「町五ふれあいまつり」を行いました。6月は東京都の「ふれあい月間」でもありましたので、人とのかわり大切さについて、講話や授業でたくさん学び、考えることも大切にしました。

これらの活動は、学校だけでなく玉川学園の家庭や地域の教育力・ネットワークにより実現できているところです。将来、子どもたちがふるさと玉川学園の担い手となることを願いながら、豊かな体験活動の充実と学校・家庭・地域が共に育てる活動の充実をこれからも図っていきます。



▲町五ふれあいまつり



つくし野中学校の教育

つくし野中学校に代々受け継がれてきた良き伝統

- あいさつがしっかりできる生徒
- 真剣に学び取ろうとする生徒
- 思いやりがある生徒
- 協力して行事に取り組む生徒
- 自ら心身を鍛える生徒

これらを土台に、より高さを求めて、相互に認め、励まし合い、進んで学び、たくましく、思いやりと節度ある生徒を育てるために、保護者・地域社会に「信頼され、愛され、支えられる学校」をキーワードに、保護者・地域社会の人々とともに、子どもを育てる喜びを共有する教育活動に励んでいます。



▲ダンスステージ

【特色ある教育活動】

つく中フェスタ36〈10月29日（土）〉

“絆・心ひとつに”を今年度のテーマとし、PTA活動の1つの柱として、生徒・保護者・地域の諸団体の参加・協力による手作りのイベント（お祭り）が開催されます。校庭に特設ステージを設け、吹奏楽部のオープニングから、有志のダンス、コーラスの発表や各部活動のゲームコーナー、バザー、恒例となっている「父親の会」のフードコーナーなど、つくし野中でうらかな秋の一日を楽しんでみませんか。



▲コーラスの発表

町田第三中学校の教育

生徒会企画 お花見お弁当会と三中マン

三中の名物と言えば校庭の南側にズラリと並んだ桜並木でしょう。開校時に植えたと思われるこのソメイヨシノの大木は、入学式の素晴らしい演出や満開の美しさはもちろんのこと、体育大会や体育の授業、夏の部活動の時には気持ちよい木陰をつくり、生徒たちの憩いの場となっています。今年は、生徒会の提案で満開の桜の下「お花見お弁当会」が開かれました。1辺が10mの正方形のブルーシートにお弁当や給食をもってクラスずつ座り、のどかなひとときを楽しみました。お弁当を食べ終わった後は、舞い落ちる花びらを楽しんだりしてとても楽しかったと評判でした。

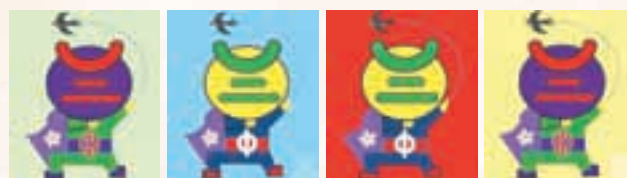


▲満開の桜の木の下での昼食



▲舞い落ちる花びらをつかまえました

また、今年の生徒会はなかなか活発で、いろいろなアイデアを出し、楽しい企画をしています。この「お花見お弁当会」の次は、スクールマスコット「三中マン」の登場です。実はこの企画、昨年度からあったもので、三中の生徒のマスコットとなるようなマークを創ろうとアイデアを練っていたのです。全校生徒からマスコットのデザインを募集し、その中からよいものを投票で選ぶことにしました。三中のシンボルとも言える「桜」、校歌に登場する「ツバメ」などいろいろなアイデアの中から一番人気の高かった「三中マン」が選ばれました。仕上げは宮下副校長先生が、得意のマンガの腕前を生かし、下のようなスクールマスコット「三中マン」が完成しました。



体育大会では4色のクラスカラーでお目見えし、なかなかの評判でした。